

# 京都

2022 winter  
No.36



ARCHITECTS

いのちと生活を支える環境デザイン

株式会社 内藤建築事務所

# 京都

2022年 winter号 VOL.36 令和4年1月15日発行

## 目次

社長新年ご挨拶

実績紹介 京都市立京都奏和高等学校……………(京都府)

神戸市立灘の浜小学校・灘さくら支援学校……………(兵庫県)

京の路地裏探訪 「神泉苑」

表紙の写真 「西本願寺の国宝・唐門」

竣工日より(令和3年9月～11月竣工)

令和3年11月末現在

所在地	施設名称	構造・規模	延床面積 (㎡)	工期 (令和年月)
京都府	京都市崇仁市営住宅 新3棟(30戸)	新築 RC-6	2,315	2.3～3.9
	新4棟(24戸)+店舗6戸	新築 RC-5	2,274	
滋賀県	滋賀医科大学附属病院 トリアージ棟	新築 S-1	215	3.4～3.9
愛媛県	愛媛大学トリアージ施設	新築 S-1	197	3.5～3.9
香川県	香川大学トリアージ棟	新築 S-1	169	3.4～3.10
長崎県	雲仙市小浜体育館	新築 RC(-部)-2	5,282	2.3～3.11
東京都	東京北医療センター(ICU・HCU他)	改修 RC-6	1,140	3.4～3.11
高知県	高知大学トリアージ施設	新築 S-1	198	3.5～3.11
愛知県	あぐりん村	改修 W-1	1,499	3.7～3.11
和歌山県	紀和病院感染症対策病棟	増築 RC(-部)-2	289	3.8～3.11

前号追加

所在地	施設名称	構造・規模	延床面積 (㎡)	工期 (令和年月)
(追加) 徳島県	徳島大学多用途型トリアージ棟	新築 RC-2	418	3.4～3.8



「とらや」さんの羊羹

新年あけましておめでとうございます。

2022年の年頭に当たり謹んでご挨拶申し上げますとともに日頃のご指導、ご鞭撻に対し心より感謝申し上げます。



昨年は新型コロナウイルスによる度重なる緊

急事態宣言により、緊張の日々の中、無事黒字決算で終えることができました。

本年は新型コロナウイルスによるインバウンドバブルの崩壊に加え、カーボンニュートラル宣言による原材料の高騰等々が見通され、経済に及ぼす影響は想像を絶するものと思われれます。

明るい話題が少ない社会情勢ではありますが、本年当社は創立80周年を迎えます。昭和17年10月17日、内藤資忠氏により創立され、多数の先輩方の努力と日々の研鑽により「医療・福祉の内藤」と言われるまでに成長してまいりました。

まさに継続は力なりです。

諸先輩方の努力に敬意を表しつつこの会社を90年、100年と継続し成長させ、次世代に引き継いでいけるよう、本年も「楽しく、愉快地に」をモットーに、一步先を見据え、気を緩めることなく常に攻めの姿勢を忘れず積極的に物事に取り組み、お客様に信託される「内藤建築事務所」を更に飛躍させていく所存でございます。



結びとなりますが、新しい年が皆様にとって幸多き一年となりますことをお祈り申し上げます。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

株式会社 内藤建築事務所

代表取締役社長 川本雄三

～『学びたい』という気持ちに応える  
人間力を育む学び舎～

◆ 建築概要

所在地：京都市京都市伏見区  
 建築主：京都市  
 用途：高等学校  
 敷地面積：8,373㎡  
 延床面積：7,103㎡（新校舎）  
 5,080㎡（改修）  
 構造規模：RC造（一部S造）4F  
 竣工：令和2年11月



南西面外観

■ 計画背景

全国的に全日制高校への進学者が増加する中、夜間定時制高校は勤労青年の就学機会を提供する場としての役割が薄れています。一方で、不登校経験や特別な支援が必要な生徒をはじめ、多様な学びの動機を有する生徒たちが増加しており、京都市のプロジェクトとして定時制高校のあり方の検討や市民意見募集等を経て、西京高校夜間定時制と伏見工業高校夜間定時制を再編・統合し、京都市立で初の定時制単独高校として創設することとなりました。

整備地については、再編・統合され移転した伏見工業高校跡地の一部が活用されています。また、ストック活用の観点から一部既存校舎の改修も含めた整備計画となっています。

■ 設計趣旨

定時制高校としての多様な学びに応えられるコンパクトな校舎を新設し、ICT改修等を施した既存建物と一体化することで、学び資産の有効活用、キャンパス全体の再生を図っています。学校の中心に交流ホールを配置し、多機能・高機能な学びの場を確保しました。

また、徹底した断熱、西日対策としてのルーバーの設置等とともに、高効率省電力機器・LED照明・Low-E複層ガラス等の採用により、環境負荷の低減を図っています。オープンエンドの廊下にするなど光や風を取り入れる工夫、太陽光発電設備の設置など自然エネルギーも積極的に活用しました。

内装材には京都市内産木材である「みやこ杉木」、外構には木質系舗装材等のエコマテリアルを採用しています。勾配屋根の設置、地域環境色の導入、開放的な雰囲気醸成することで、地域環境との調和を図っています。地域開放するアリーナには、防災設備を充実させて、災害時の避難場所として活用します。



南東面外観



アプローチ・南昇降口



1階南昇降口・ホール



2階交流ホール・大階段



4階アリーナ



小学校と特別支援学校との  
一体的高層建物

◆ 建築概要

所在地：兵庫県神戸市灘区  
 建築主：神戸市  
 用途：小学校・特別支援学校  
 敷地面積：15,000㎡  
 延床面積：22,725㎡  
 構造規模：RC造（一部PRC造）7F  
 竣工：令和3年1月

南西側鳥瞰

【性質の異なる教育施設の合築】 新設小学校と特別支援学校という性質の異なる教育施設を一体的敷地に計画するにあたり、不可分な一棟建物として提案しました。各々の教育プログラムを効率的に展開しながら、将来的な共同学習や交流を可能とし、さらに多彩な授業形態へと発展させられる空間構成としています。また市民図書室やクラブハウスを含む地域スペースを組み込み、子どもたちと地域との交流、さらに日常・非常時のグラウンド利用等を可能としています。ひとつの建物としながら、床暖房設備の有無、第1・3種換気の使い分け、屋内外のプールなど、子どもたちの特性の違いを踏まえた計画となっています。

【多様な動線の整理】 歩行登校となる小学校、バス登校を主体とする特別支援学校、両校の間に位置する地域スペース、それぞれのアプローチ動線に安全を担保しながら、各校専用のサービス車両動線、また緊急車両動線を整理しました。

【立体的・高層の教育施設】 限られた敷地の中で各校の屋内運動場、屋内外プールを確保するために、それぞれを校舎に立体的に一体化し、最上階には特別支援学校専用の運動場も備えた結果、この種類の教育施設としては数少ない6階建てという高層建物となり、万全な避難、容易な移動、過密性を感じさせない空間等に留意した計画となっています。高速道路への干渉を避けた配置計画・杭基礎構造とし、屋内運動場やプールなど長スパン・重荷重への対応として高耐久のPRC造を取り入れた構造としました。

【災害への対応】 グラウンドは広域避難場所としての西郷川河口公園に隣接させ災害時の連携を図りやすくし、想定外の高潮・津波には屋上への避難、また避難所となる小学校3階の屋内運動場へは専用動線を確保しています。



小学校南西面外観



特別支援学校北西面外観



小学校4階ホール



小学校3階体育館



特別支援学校6階屋内プール

# 神泉苑 しんせんえん



神泉苑の池に架かる朱塗りの法成(ほうじょう)橋は、一つだけ願いを念じながら渡り、善女龍王社にお参りすると願いが叶うと言われています。神泉苑で一番の人気スポット。くれぐれも欲張りしないで願いは一つ。また、神泉苑は源義経と静御前の出会いの場所でもあり、その後二人が結ばれたことから、恋愛成就を願う多くの女性が訪れています。

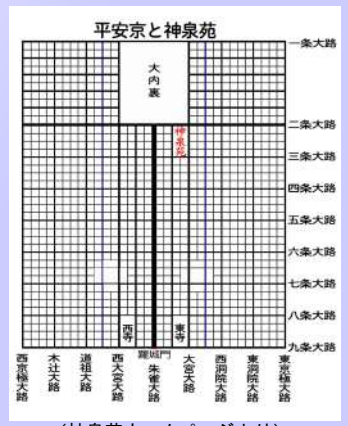
神泉苑は延暦十三年（七九四）の平安京遷都の時、大内裏の南東に建設された禁苑（天皇のための庭園）として造営されました。当初の敷地は北は二条大路、南は三条大路、西は壬生大路、東は大宮大路に囲まれた、総面積約13万平方メートルの広大なものでした。かつて湖底だった地形の名残りがそのまま苑池として造られました。



天長元年（八二四）、東寺の空海と西寺の守敏（しゅびん）が雨乞いの法力を競い、空海が神泉苑に天竺の無熱池（むねつち）に棲む善女龍王（ぜんによりゅうおう）を勧請し、雨を降らせました。後に真言宗の東寺による雨乞いが行われる霊場となりました。

貞観五年（八六三）に都に疫病が流行り、五月二十日、京で初めて御霊会が行われたのが神泉苑です。神泉苑の南端に66本（当時の律令制度での国の数）の鉾を立てて、祇園社（八坂神社）から神輿が出ました。これが現在の祇園祭の起源と言われています。この日、苑の四門が解放され、読経をはじめ、音楽や舞、雑技などが演じられました。

平成三年（一九九一）の京都市営地下鉄東西線建設にともなう発掘調査により、東西の長さが判明し、船着場、遣水（やりみず）の流路、小橋の跡を始め、正殿の乾臨閣（かんりんかく）の屋根に葺かれていた緑釉瓦（大極殿と同じ瓦）などが発見されました。



(神泉苑ホームページより)

正面鳥居をくぐると、池のほとりに小さな祠があります。日本で唯一の恵方社(えほうしゃ)で、毎年大晦日の晩の十時三十分に翌年の恵方へ祠の正面が向けられます。この恵方には歳徳神(としとくじん)という神さまがいて、吉の方角にお参りすると願いが叶うと言われています。



平安京当初の神泉苑の範囲 (グーグルマップを使用)

西本願寺『国宝・唐門』（京都市下京区）



浄土真宗本願寺派本山・西本願寺の国宝・唐門が三年の修復を終え、桃山時代を象徴する華麗な姿がよみがえりました。

豊国神社の唐門、大徳寺の唐門とともに「国宝の桃山三唐門」に数えられています。高さ8・7呎、幅5・4呎あり、入母屋造りで左右に切妻破風、正面と背面に唐破風、檜皮葺きの四脚門です。

金の飾り金物や極彩色の彫刻で彩られ、一日中眺めていても飽きないというので「日暮門」と呼ばれています。



唐門は、西本願寺が1591年に現在の場所に移転した後建てられたとされています。この唐門は、一般の参拝者のためでなく、迎賓館の役割のある「書院」の正門として造られました。豪華絢爛な門は、桃山時代のものとも推測され、桃山城の遺構ともいわれています。修復工事は2018年6月から2021年10月にかけて、檜皮葺きの屋根をふき替え、門全体の黒漆が塗り直されました。また極彩色の107点の彫刻は、X線分析で顔料を特定して彩色されました。



書院側より（北面）



書院

## 内藤建築事務所

### ■本社

〒606-8202  
京都市左京区田中大塚町182  
TEL:075-781-4111/FAX:075-701-2423  
E-Mail:kyoto@naito-archi.co.jp

### ■東京本社

〒104-0032  
東京都中央区八丁堀3-12-8 HF八丁堀ビルディング6階  
TEL:03-5543-2131/FAX:03-5543-2135  
E-Mail:tokyo@naito-archi.co.jp

### ■本社



### ■東京本社



### ■東京事務所

〒104-0032  
東京都中央区八丁堀3-12-8 HF八丁堀ビルディング6階  
TEL:03-5543-2131/FAX:03-5543-2135  
E-Mail:tokyo@naito-archi.co.jp

### ■名古屋事務所

〒460-0003  
名古屋市中区錦1-7-32 名古屋Sビル5階  
TEL:052-212-4645/FAX:052-212-4051  
E-Mail:nagoya@naito-archi.co.jp

### ■京滋事務所

〒606-8202  
京都市左京区田中大塚町182  
TEL:075-781-4111/FAX:075-701-2423  
E-Mail:kyoto@naito-archi.co.jp

### ■大阪事務所

〒541-0045  
大阪市中央区道修町1-4-6 ミフネ道修町ビル5階  
TEL:06-6203-7110/FAX:06-6203-7122  
E-Mail:osaka@naito-archi.co.jp

### ■広島事務所

〒732-0052  
広島市東区光町1-13-20 ディア・光町ビル3階  
TEL:082-568-5544/FAX:082-568-5545  
E-Mail:hiroshima@naito-archi.co.jp

### ■九州事務所

〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前1-14-16 博多駅前センタービル5階  
TEL:092-441-6836/FAX:092-451-4860  
E-Mail:kyushu@naito-archi.co.jp

### ■静岡事務所

〒420-0859  
静岡市葵区栄町2-5 アークビル5階  
TEL:054-253-6347/FAX:054-255-7859

### ■奈良事務所

〒634-0078  
奈良県橿原市八木町1-7-3 橿原ビル4階  
TEL:0744-29-0322/FAX:0744-25-7159

### ■四国事務所

〒781-0806  
高知市知寄町2-2-41 知寄町マンション2階  
TEL:088-883-4280/FAX:088-883-4272

### ■南九州事務所

〒892-0871  
鹿児島市吉野町3095-157  
TEL:099-294-0311/FAX:099-294-0311

### ■長野営業所

〒381-0043  
長野市吉田3-14-17  
TEL:026-241-0590/FAX:026-241-1245

### ■福井営業所

〒918-8112  
福井市下馬2-812  
TEL:0776-43-6027/FAX:0776-43-6029

### ■神戸営業所

〒650-0012  
神戸市中央区北長狭通5-5-12  
TEL:078-367-6255/FAX:078-367-6256

### ■和歌山営業所

〒640-8354  
和歌山市北/新地東ノ丁1  
TEL:073-435-6080/FAX:073-435-6101

### ■長崎営業所

〒852-8023  
長崎市若草町13-3  
TEL:095-844-5151/FAX:095-844-5151

### ■宮崎営業所

〒886-0006  
宮崎県小林市北西方3000-1  
TEL:0984-27-2485